



校長室だより 9月号
2026.9.7
＜不撓不屈の芦中生＞
・思いやりと温かな心
・言葉で伝え心で聴く
・自ら主体的に行動

実りの秋

成長の2学期にするために

2学期が始まりました。44日間の夏休みは、みなさんにとって充実したものになりましたか？自分の心次第でどのような取組もできた夏休み。始業式でも言いましたが、なにかひとつでも自分で決めたことを「これをがんばった！」「やりきった！」



と言えるものがある人は、大きい小さいに関係なく、その経験は必ず自分の支えになってくれます。勉強も、部活動も、趣味も、最後は自分との勝負です。友達が決めることでも、家族が決めることでもありません。やるのかやらないのか、最後は中学生らしく、自分が自分の心と向き合って決断していけるようになるといいですね。

幕末の政治家である高杉晋作（たかすぎしんさく）が詠んだ句に、

面白き こともなき世を 面白く
住みなすものは 心なりけり

という句があります。

「大変なことが多い世の中だが、日々の生活を面白くしていくのは自分の心だ」ということです。先人も思っていたように、自分で前向きに考えて、決断していけるといいですね。



高杉晋作
1839年9月27日生まれ
長州（山口県萩市）出身
幕末の長州藩の志士として、長州藩を討幕運動に方向付けた。



「仲間」とともに

でも、最初から最後まで、全てを自分一人で決めなければならないということではありません。迷ったり、困ったり、悩んだりすることもちろんあります。それはだめなことではあり



ません。そんな時は、ぜひ、周りを頼ってください。友達、家族、先生など、みなさんの周りにいる仲間の手助けをしてもらってください。いろいろな考え方やそれぞれの立場からの想いを聞くことで、新しい気づきがあったり、安心感が生まれたりします。それを、自分の決断につなげていくことができれば、より良い自分づくりができると思います。

成長するチャンスを見逃さない

2学期は大きな行事が続きます。新人戦、運動会、文化祭だけでなく、学年や学校全体で取り組むことがたくさんあり



ます。それらに向かって、自分は何ができるか、どうしなければならぬかをよく考えて行動できるといいですね。どれも、本番はもとより、準備が大切なことばかりです。関わり方次第で、大きく成長できるチャンスです。頑張りを期待しています。